重症心不全治療部

1. スタッフ (2021年4月1日現在)

1. ヘノ ソノ (2021年4月1日	1児仕/		
部 長(教授)(兼)	相澤	啓	
医 員(教授)(兼)	川人	宏次	
医 員(教授)(兼)	新保	昌久	
医 員(教授)(兼)	今井	靖	
医 員(特命准教授)(兼)	原田	顕治	
医 員(学内准教授)(兼)	塩田	勝利	
医 員(講師)(兼)	小森	孝洋	
医 員(講師)(兼)	楜澤	壮樹	
医 員(助教)(兼)	滝	瑞里	
医 員(助教)(兼)	菅谷	彰	
医 員 (病院助教) (兼)	上杉	知資	
医 員(臨床助教)(兼)	清水	圭佑	
医 員(臨床助教)(兼)	土井	真之	
医 員(臨床助教)(兼)	堀越	崚平	
看護師長(兼)	太田	信子	
看護師長(兼)	神山	淳子	
主任看護師 (兼)	前沢	幸代	
主任看護師 (兼)	笹井	香織	
主任看護師 (兼)	飯塚	由佳	
看 護 師 (兼)	野口	康子	
看 護 師 (兼)	齋藤	知佳	
主任臨床工学技士(兼)	繁在家	え 亮	
臨床工学技士 (兼)	鳥越	祐子	
臨床工学技士 (兼)	関野	敬太	
主任管理栄養士 (兼)	川畑	奈緒	
理学療法士	中川	康宏	
臨床心理士 (兼)	山本	理栄	
薬 剤 師(兼)	海老沼	房一	
薬 剤 師(兼)	高倉	祐希	
患者サポートセンター医療福祉相談室 MSW (兼)			
	角田	圭佑	

2. 重症心不全治療部の特徴

重症心不全治療部は循環器センターの一部門として、従来の内科治療や外科治療では救命できない重篤な心不全患者に対し、体外型、および体内植え込み型補助人工心臓(VAD: ventricular assist device)を導入し治療にあたっている。循環器科医師、心臓外科医師、精神科医師、看護師、臨床工学士、薬剤師、栄養士、臨床心理士、ソーシャルワーカーなど多くの職種が協力してチームとして診療に携わっており、人工心臓治療のみならず、心臓移植対象患者の適応評価、移植待機中の外来管理等も担当している。

●認定施設

認定植込型補助人工心臓実施施設 Impella補助循環用ポンプカテーテル実施施設

●認定医

植込型補助人工心臟実施医:川人 宏次 植込型補助人工心臟実施医:相澤 啓

3. 診療実績 クリニカルインディケーター

3-1)補助人工心臓 手術実施症例

症例	診断	デバイス
69歳男性	虚血性心不全	Central-ECMO
48歳男性	急性心筋梗塞後 重症心不全	Central-ECMO
44歳男性	急性大動脈解離術後、 心筋梗塞、重症心不全	Central-ECMO
46歳男性	植え込み型補助人工心臓 ドライブライン断線	植え込み型補助 人工心臓ポンプ 交換

- 3-2) 日本臓器移植ネットワーク移植希望者登録: 4名
- 3-3) 体内植え込み型補助人工心臓患者外来管理: 4名

4. 2021年の目標・事業計画等

2020年は新規の植え込み型補助人工心臓の症例はなかったが、植え込み型補助人工心臓ドライブライン断線症例に対して早期に診断し適切なタイミングでポンプ交換を行い、心臓移植まで進めることができた。引き続き重症心不全症例に対する適切な治療、管理を行ってゆきたいと考えている。また2021年度は従来のIABP、PCPSのみでは救命が困難と考えられる重症心不全症例に対して、補助循環用ポンプカテーテル(IMPELLA)の導入を進め、より高度な心不全治療の拡充に努めたいと考えている。